

令和7年度「NIE 研究発表会」アンケート結果

【参加者数】

会場61名 オンライン37名

【アンケート回収数】

教員 12名(含 管理職) 教育関係者 3名 新聞社関係2名

①研究発表について

- ・普段他の学校種の発表は聞かないので良かった。
- ・NIEの活動が、生徒の主体的活動になっていることに気付かされました。
特に新渡戸文化中学校高等学校の高橋先生の生徒が商品開発をしていることに驚かされました。新聞や書籍で知る情報も良いのですが、講演者・筆者の生の声から感じとれる情報の大きさを改めて感じています。これぞエンパシー。今後、教育現場において共感してもらえる場面・状況を作るべく、意識していこうと思いました。
- ・小～高の各部会から素晴らしい発表をしていただきました。また、他県のNIE実践者からの率直な質問でさらに磨きがかかりました。ありがとうございました。
- ・業務上の都合により、中学校部会までの聴講となりました。申し訳ありませんが、2名の先生方への感想を記載いたします。板橋区立赤塚新町小学校 渡辺先生・・・新聞を読み比べ、同じ事柄に対する表現の違いを考えることはメタ認知及び昨今の大学入試に求められる「思考力・表現力」を養成することに大きく貢献されていると感じました。生成AIに頼らずとも生徒ひとりひとりが自分の言葉で表現が出来るよう今後も継続したお取り組みを共有頂きたいです。調布市立第三中学校 新野先生・・・平和学習教材から生徒が自分の意見を醸成・発信することに繋がっており、「戦争が悪」という教育のみならず「なぜ戦時中のことを知ることが重要なのか」「どうしたら同じ轍を踏まないようにできるか」を考えさせる素晴らしいお取り組みと感じました。インプットからアウトプットの間思考を挟むことは人間のみが出来うる作業だと考えておりますので、発表いただいたお取り組みを各高校様へ伝えて参ります。
- ・赤塚新町小学校 板橋区「読み解く力の育成」と連動する活動。2年目と思えないほど体型的な活動で感心しました。運動会や学期のまとめを見出し、イラスト、記事にした新聞体裁の発表にしたことでバラエティに富んだものになったのではと思いました。こういうことが子どもたちの関心を高めたり学校内での横展開につながっていったりすると思います。新聞系の積極的な新聞製作も素晴らしいと思いました。身近で「誰かが新聞を手取る」シーンはいつか他の人の何かの解決になると思います。調布市立第三中学校 平和に関する学習で「知る原爆」を活用して、「当たり前の毎日」の大事さを学ぶ着眼点とアプローチを聞かせていただけてよかった。「知る原爆」に関連の新聞記事が挙げられているのだと思いますが、それをどのように活用したのか、実践報告に盛り込んでいただけたら新聞を使った平和学習のメリット、デメリットがより理解できたのではと思います。

した。新渡戸文化中学校・高等学校 高い志を背景にしつつ生徒さんたちが楽しく授業に参加したのだろうなと想像しながら、テンポのよいご報告を聞かせていただきました。記事を生かしたスピーチ原稿製作はまさに「学俗接近」でさすがだなと思いました。日経電子版 for education の活用（特に Ask!NIKKEI はインプットかアウトプットかどちらに活用でき、メリットを感じるのかなど）についてはより詳しく聞かせていただきたいです。

- ・高校の時、一番好きな英語の授業がありました。その時間はなぜか汗ばむ感じでした。今日はそんな汗ばむような、とても楽しい発表でした。ありがとうございました。
- ・平和教育について、教科書だけではなく新聞+αで被爆者の話や体験談などに触れることが子供たちが自分ごととして考えることにとても有効であることを改めて実感した。高校での実践では、生徒がもともと持っている興味関心をもとに、新聞と出合わせ、授業で探究していく機会を用意していた。さまざまなコンクールでの発表、評価につながったり、イベント開催につながったり、企業との商品開発につながったりと、生徒たちの興味関心が社会とつながる、自分たちが探究し考えたことが誰かのためになるという取り組みにとっても感動した。小学校でも、高校生よりはできることは少ないかもしれないが、子供たちの持っている興味関心を探究はつなげたり、それ以前の興味関心をもたせたりするところで新聞を活用していきたいと改めて思った。
- ・遅刻参加になってしまい申し訳ございませんでした。後半お二方の発表しか聞けませんでした。新しい視点が得られ勉強になりました。平和教育については、授業で軍事教材を扱う際「どう自分事にするか」という同じ問題意識を持っていたため、「知る原爆」「知る沖縄」の事例は、ぜひ参考にさせていただきたいと思います。
- ・高橋様のご発表では、探究の授業で使えるようなツールが様々紹介されていたので、1人1台端末の授業になるので、実際に使ってみたいと思います。
- ・小中高と系統的な実践を聞かせていただき、大変勉強になりました。小学校では、1時間であれほどの新聞づくりができるなんて、継続することの重要性を改めて認識できました。中学校では、平和教育から真正面に向き合い子どもの実態に合った教材発見し、子ども達に「絶対に戦争をしてはいけない」ことを伝え続けたいと思いました。高校では、自主的に新聞を手にとる姿を見て、教員側の仕掛けの大切さを知ることができました。
- ・小中高それぞれの実践から学ぶことが多く参考になりました。新聞を活用するヒントがたくさんありました。
- ・小・中学校の発表では発表者以外の教員・学校全体への共有、広がりが全体的な課題であると実感しました。高校の実践はクラスや学年を超えた協働活動のツールとして新聞を活用する手法は自校で応用したいと思いました。

- どの校種もそれぞれの特徴があった発表でした。大変よかったですと思います。ありがとうございました。
- 高校生の心理状況や思いについてのアンケート結果分析が興味深く、大変よい情報が得られた。新聞が「じっくり型の学習材料」として優れている点の認識が改めてできた。ゆっくりな思考である小学校での活用が向いていると改めて思えた。スピーディーに要点だけ知りたいと思っている高校生ではあるが、小学校でも増えている。じっくりと取り組むために何をきっかけとするかは、次年度も追求してみたいと思えた。(赤新小)
中学校、高校ともにニュース事象をきっかけにしているのに対して、小学校は、作成スキルや書きたい意欲、楽しさの喚起に力を入れたいと思うところである。
- 小学校籍なので、中・高の実践を知ることができ、発達段階やつながりを感じます。各部会充実していました。
- 小・中・高と違う年代での実践事例を教えていただき、とても勉強になりました。自分は小学校の教員です。中・高でのNIEの取り組みを知り、それができるようにするために、小学校現場ではどのような力を育てていく必要があるか考えるきっかけとなりました。今からできることを本校でもやっていきたいと思えます。ありがとうございました
- 小中高校のそれぞれの特徴のよく表れた実践発表でとても有意義でした。3名ともに、日常的なNIEを意識されていることが、特に素晴らしいと思いました。

②平松様のご講演について

- いくつかの言葉、名言が心に残りました。
- 平松様の自分ファーストの生き方に羨ましさを感じました。また、やなせたかしさんのお話には大変興味があり、「あんばん」の主題歌のお話は面白く感じました。
- 平松様のお話を聞き、好きなものを追いかける「自分ファースト」も必要だろうと思いました。親子と向き合う10分間というお話がありましたが、幼少期は絵本で、小学校になったら新聞で、取れたら充実するのではないかなと思いました。
- 教育と出版物を結ぶ、年次の発表会のお話にふさわしい、とても価値のあるお話でした。「ところであなたは買いますか」。文脈は違いますが、教育界で有効な新聞活用をうたう我々の活動の目指す先には必ず「あなたは買いますか」があるはず。なんだか心を奪われました。様々なことを乗り越えてきたそのままのとてもエネルギッシュなお話。どうやっているいろんなことを突破してこられたのかなあと感心します。

- ・夢を叶えるためには、強い想いを持って行動することが大切なこと 喜い人であることが周りにも自分にとっても大切であること 貴重なお話をありがとうございました
- ・自分のやりたいことを叶えるために行動し、実際に憧れの人と仕事をするというお話を聞くと「すごいなあ」という感想ですが、そこにいたるまでには様々な葛藤や悩みもあったのではないかと思います。30代女性で今後のライフプランについても考える時期ですので、素敵な生き方をしている女性として感銘を受けました。(本も買わせていただきます)
- ・私もアンパンマンでひらがなも数字も教えてもらいました。読み聞かせも母にしてもらい、本が大好きになりました。やっぱり読み聞かせは大切ですね。
- ・1つのことに打ち込む精神は、感嘆しました。10分の読み聞かせ貯金の大切さを実感しました 我々教員も目の前の子どもたちに時間を割いて、まっすぐな心をもって成長する子ども達を育てたいと思いました。最後に、朝読書の時間に月に1ヵ月程度、アンパンマンの物語を読み聞かせをし、良い子を育てていきたいと思いました。
- ・少女時代からの夢をつないできたご自身の経験を語っていただき興味深く拝聴しました。陸前高田の松の話は知らなかったもので、よくわかりました。
- ・「10分間の読み聞かせ貯金」に共感しました。
- ・「夢を実現するためには自分ファーストであれ」など、いろいろためになった。
- ・平松先生のこだわりをもった信念の強き話をうかがい、思いを強くもたせることが大切であると自信がもてました。これからの子供たちには、強く思えることを育てたいと思いました。
- ・読み聞かせの大事さの話も聞けて、これからも保護者へ働きかけをしていこうと思いました。家庭教育の大切さと、やさしさの気持ちを育てる活動をしていくことを強く感じられてよかったです。やなせたかしさんの魅力がとてもよくわかり、増々好きになりました。
- ・平松様の思いあふれる生き方に勇気をもらいました。1日10分の関わり・・・(子供と)むずかしかったことを思い出しました。大切なのは向き合うことですね・・・。
- ・物事をすすめていくためには、見通しと計画をもち、実行していくことが大切なんだと思いました。長期で達成したいことはモチベーションの維持も難しいとは思いますが、「自律」し「自立」していくことが重要だと感じました。
- ・ご講演の中から、やなせたかしさんの人柄が伝わるエピソードを知ることができ、楽しく味わい深い時間を過ごすことができました。

③その他、全体を通してご意見・ご感想など

- ・来年の夏のセミナー、冬の研究発表会も楽しみにしています。
- ・講評の先生や閉会の先生の言葉が教育現場で働く身として、参考になりました。ありがとうございました。
- ・事務局の皆様をはじめ、各部会で動いてくださった先生方、学習材を提供してくださった新聞社の皆様に心より感謝申し上げます。今年度もありがとうございました。
- ・素晴らしいお取り組みの発表であったため、アーカイブや当日の発表資料を共有頂きたくご検討をお願いいたします。
- ・今回も素晴らしい発表会で大変楽しかったです。多々制約がある中ながら事務局の皆さまのおかげで素晴らしい一年の締めくくりの場を作っていただきました。今年もありがとうございました。
- ・二年間に渡り実践校として活動させていただきました。ありがとうございました。
- ・毎年、講演内容が非常に面白く、楽しみにしています。私も研究発表できるように、NIE活動を頑張ります。
- ・とても有意義な時間を過ごすことができました。現場で実践していること少しアレンジして子どもの実態をみて、還元していきたいと思います。今日は、ありがとうございました。
- ・学ぶ機会を得ることができ、よかったです。
- ・企業や他県の方も参加されていて、盛況な会になっていると感じました。ありがとうございました。
- ・本校が研究を発表する機会をいただけて、取組をまとめると、年間で取り組んだことの効果を再認識することができた。ありがとうございます。新聞を家庭で購入していない方が増えているので、「新聞を時間をかけて読む活動(体験)は文字離れを増やさないために必要な重要件として強く思えた。
- ・ありがとうございました。石山先生の講評もすばらしかったです。運営おつかれ様でした。
- ・多くの方の参加があり、企画のよさが伝わりました。